

平成15年12月 検定試験

〔No.38〕 電子制御式4速ATのフェイルセーフ制御に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) スロットル・ポジション・センサに断線が発生すると、スロットル・バルブ・スイッチのアイドル接点とフル接点のON・OFFの組み合わせによりスロットル開度を検知し、走行できるように制御しているものがある。
- (2) ライン・プレッシャ・ソレノイドに断線が発生すると、AT・ECUはソレノイドをOFFにするため、ライン・プレッシャは最大に制御され、1から4速まで変速するがセレクト・ショック及び変速ショックが大きくなる。
- (3) オーバラン・クラッチ・ソレノイドに断線が発生すると、AT・ECUはソレノイドをOFFにするため、オーバラン・クラッチを開放する。
- (4) ロックアップ・ソレノイドに異常が発生すると、AT・ECUはソレノイドをOFFにするため、ロックアップを禁止する。